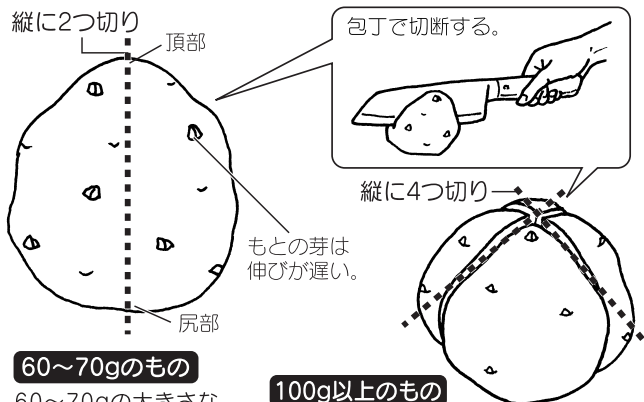


ジャガイモ

1 種イモの準備

種イモの切断 種イモは、休眠から目覚めて芽が少し伸びかけているものがよいものです。種イモ1kgで4~5㎡の植え付けが目安です。種イモの大きさによって切断を行いましょう。



60~70gのもの

60~70gの大きさなら2つに切る。横に切ると発芽の揃いが悪い。50g以下の種イモはそのまま植え付ける。

100g以上のもの

100g以上の大きい種イモは、縦に4つ切りにするが、一片に4~5芽は確保すること。切った種イモは、腐らない様に日影干しを行い、切り口を乾燥させる。

2 畑の準備・植え付け

土作り

植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。

元肥・うね立て・植え溝作り

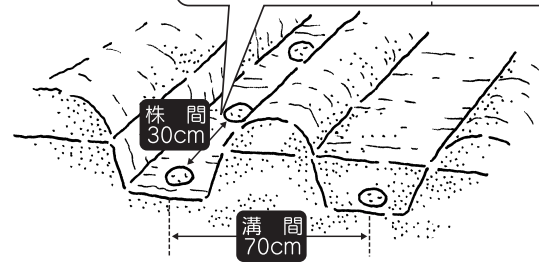
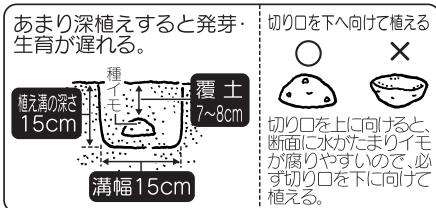
植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行い植え溝を作ります。

土作り
・苦土石灰: 1㎡あたり100g
・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

元肥
・JAファームいも専用肥料: 1㎡あたり75g~90g(ひと握り約40~50g)

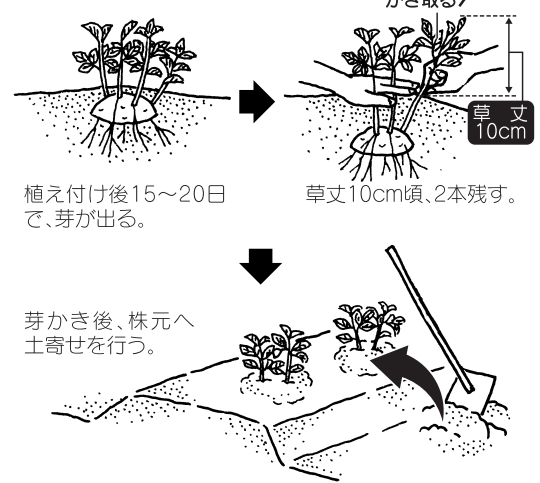
植え付け

種イモは、切り口を下に向け配置します。その上に7~8cm覆土し、軽くくわで押さえます。

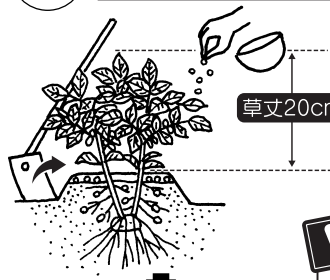


3 芽かき

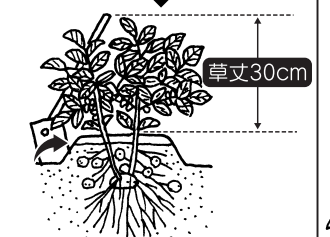
芽が10cm位に育ったら、勢いのよいものを2本残して他は取り除きます。種イモを引き上げないように株元をおさえ、斜めの方向にかき取るとよいでしょう。斜めにかき取る



4 追肥・土寄せ



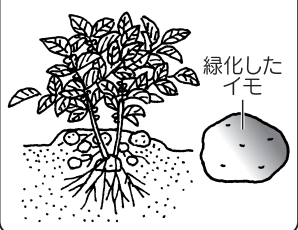
●第1回目追肥
(草丈が20cmくらいに伸びた頃)「JAファームやさいの追肥」1㎡あたり約10gをうねの肩にまき、併せて通路の土を株元へ土寄せする。



●第2回目追肥
(1回目の約2週間後、又は草丈が30cmくらいに伸びた頃)第1回目と同様に追肥を行い、併せて土寄せも行う。

！土寄せ不足に注意！！

イモが日光に当たって緑化し、品質を損ねる。土寄せは、数回に分けて行うことがポイント。



5 病害虫防除



葉に湿った黒褐色の斑点の出る疫病は大敵。この病害はトマトにも伝染するので注意。早めに殺菌剤で予防すること。

！病害虫に注意！！



テントウムシダマシ(オオニジュウヤホシテントウ)は、葉を著しく食害する。幼虫のうちに登録薬剤で早期防除が必要。

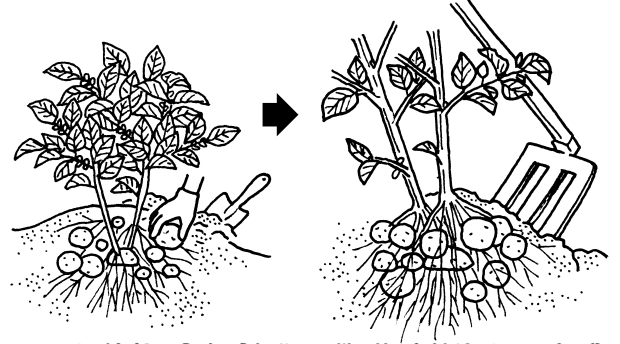
6 収穫

試し掘り

イモが肥大してきたら、早いうちから探り掘りして新イモの味を楽しみましょう。

収穫

茎葉が黄化し、イモが完全に肥大した頃、くわを入れ掘り起こして収穫しましょう。



貯蔵

ある程度イモが乾いたら、日影に移して乾燥させる。逆にあまり日にさらすと、緑色に色づくので注意。場所があれば、あまり積重ねず、薄く並べて暗所に貯蔵するのが良い。

科名	ナス科
原産地	南アメリカ
連作障害	あり(3~4年)

制作 JAファーム 専門部会 (無断転載禁止)